

正しくは、人口が「連続減少」の後に、「連続増加」している「関西の自治体」は明石市だけ、というものです。

下記の表（自治体人口の前年比増減）の通り西宮市（20年連続）や伊丹市（10年連続）といつた人口右肩上がり自治体も存在します。

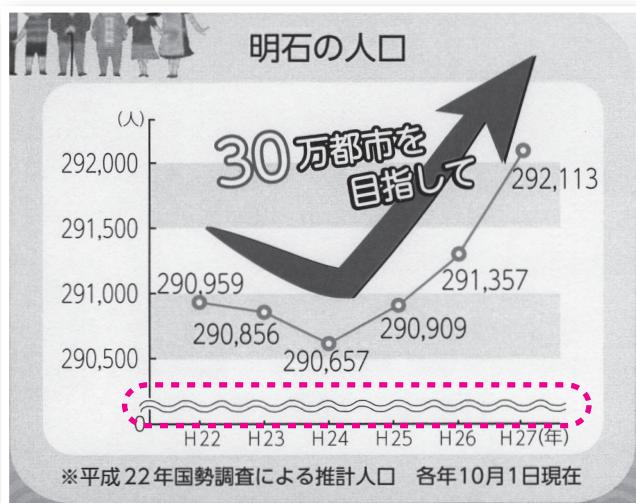
神戸市中央区、灘区、東灘区も非常に人口が増加していますが、神戸市トータルとしては減少しており、市の政策以外の要素も人口増減に与える影響が大きいことが分かります。

「明石市だけ！」とうたいいがために、一般的ではない基準を用いるのは、格好の良いものではありません。

市民への敬意、正しい広報で

明石はA級都市へ クラス

自治体	自治体人口の前年比増減										人口 28年11月1日 現在
	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年 (増減率)	27年 (増減率)		
明石市	↗	↗	↗	↖	↖	↖	↗	↑ 0.17	↑ 0.17	293,940	
西宮市	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↑ 0.20	↑ 0.29	488,841	
伊丹市	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↑ 0.08	↑ 0.06	196,942	
加古川市	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↖	↓ -0.31	↓ -0.39	266,466	
神戸市中央区	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↑ 0.63	↑ 1.31	107,240	
神戸市	↗	↗	↗	↗	↗	↖	↖	↓ -0.20	↓ -0.14	1,536,241	



波線で省略して、わずかな増加を大げさに見せる手法、市の広報としてふさわしくない（広報あかし平成28年1月1日号）

正しくは「日本一の本のビル」と広報されています。しかし、市民からは「日本一の蔵書数の図書館になるつて本当ですか?」「一〇〇万冊も蔵書があるの?」と聞かれますが、どちらも違います。

③「日本一の図書館」の怪

どれだけ増えるとV字なのか基準はありませんが、写真の広報あかしのように、グラフを波線で省略してズームアップし、“V字”に見せる手法も、ほどほどにしておかないと市民に失礼。「良いニュースなんだから、少々の演出は良いじゃない」という意見もありますが、市民をパートナーとして考えるなら、きちんとした真実をお伝えするべきです。

V字回復の定義はなんでしょうか。おそらく、「急落の後の急上昇」でしよう。表の数値にあるように、明石市の人団伸び率は0・17%、増加人数は約五〇〇人です。西宮市は0・29%で約1,400人、中央区は1・31%で約1,700人の増加です。明石市はV字回復というのがはばかられる数字だと思います。

引っ越して
「」など、自
を下げてい
ません。
市の顔で
あり、市民
の情報源と
してふさわ
しい「読め
る広報紙」
作りが急務
です。

人口25万人の明石市は、兵庫県下で5番目の人口規模であり、全国1,700余の市町村の中でも87番目の立派な自治体です。そんな明石市は、規模に見合った“格”を身に着け、さらに魅力ある”都市“を目指すべきです。

間の大型書店の蔵書。「それ、入れちゃうの？」というのが私の感想です。

「日本一の本のビル」というのも、分類のよく分からぬ言葉です。横浜市の中図書館は蔵書数が約一六七万冊ですので、明石市は、よく分からぬ基準で日本一を主張しており、無理矢理日本一を名乗りたいように見えます。



Aクラスを目指せ！

明石市議会議員

中西レオの活動報告